

## 父、男兄弟5人で建設一筋に半世紀 株式会社坂本土建

創業は昭和36年。既に半世紀50年が過ぎている。大阪港区にあるとび工事、土木工事の「株式会社坂本土建」。平成元年に株式会社として改組を機に、先代の父から二代目社長を受け継がれたのが三男、寛成さん。男兄弟5人みんなが同社で働くが、それぞれが適材適所で自分の持ち味を活かしている。

デフレ不況により、業界全体が工事の減少、コストダウン、納期短縮など、年を追う毎に厳しい状況に見舞われてきた。生存競争の厳しい建設業界の中で、同社が50年の永きにわたり続けて来られた理由の一端と今後の展望を社長と常務に伺った。

### 積み上げた信用と実績で安定した受注を確保

事務所に飾られた数々の表彰状や感謝状が、同社の歴史と積み重ねてこられた信頼を物語る。その中でひときわ目立つのが顕彰状・安全優良職長厚生労働大臣顕彰だ。顕彰されたのは、とびの職業訓練士の資格を持つ四男の智さん。この顕彰



厚生労働大臣から贈られた顕彰状

は優れた技能と経験を有し、高い安全意識を持って、適切な安全活動を実践してきた優良な職長に対して厚生労働大臣より顕彰される。元請けの清水建設の推薦もあって実現した。数ある建設会社の中で、薦職として顕彰されたのは全国でわずか20社にすぎないとのこと。ここにも信頼を勝ち得てこられた証を知ることが出来る。50年を超える歴史が何よりも実績として信用の裏付けと成っている。清水建設をはじめ大手ゼネコンからの発注で仕事が安定していると断言される言葉に相当の自信が窺える。

「仕事は指名で発注がくる。坂本土建の誰々を寄越してほしい」と言っても貰えるほど得意先にファンが多いと語るのは常務。

「先代から社長を受け継いだときは不況の真っ只中。長年の付き合いで断れない赤字の現場も、なんとか儲けにつながるよう知恵を絞って工夫してきた。仕事というのは、やはり人対人だ。人間関係がうまくできないと仕事は取れない。幸いにも私は得意先にとてもかわいがられてきた。かわいがってもらい、応援してもらって、社員一丸となって一生懸命仕事をした。信用も得た。実績もついた。受け継いだ不良債権も、すべてスッキリさせた」と社長が当時を思い出すように語った。

少ない人数で生産性を上げる、決まった予算のなかで利益を出すにはそれしかないと言量でカバーされてこられた。「兄弟の中で三男を社長に選んだのも、経営力、人当たりの良さを見抜いてのこと。先代に先見の明があったのだと思う」と常務は続けた。



多くの表彰状

### 人材は人財。未経験者こそ門を叩いてほしい

とび職の魅力の1つは平均的なサラリーマンより高給なところ。その魅力に惹かれこの業界に入ってくる人も多い。体力勝負の世界のようだが、体力に自身のある人ばかりが入ってくるわけではない。まずはやる気。そしてこ

の仕事に興味を持つこと。同社には国立大学出身の社員がいるが一流の職人を目指し日々、技量を磨いているという。

人材は会社の財産と考え人材育成に力を入れている。信頼を継承していくためには大切なこと。

また、「ひとつの建設現場には約48の職種が携わっている。その中で最初の仮囲いつくり、土入れに始まって、最後は仮囲いを撤収するまで一貫して現場に携わっているのがとび職。他の職種は受け持ちの一部分しか見ることがない。とび職は最初から最後までを知っているのだから、完成した時、この手で作ったという感動は何ものにも代えがたい。ものづくりの喜び、楽しさを味わってほしい」と職人気質の常務は語る。

「社長といっても現場には出る。身を持って範を示すのが私のやり方。社長というより、親父やね。うるさい親父(笑)。現場に出て、一人ひとりの特性を捉えて、伸ばしてやりたい。どんな仕事でも合う、合挽があるけれど、その仕事の面白みを見つけれられるかどうかが大事。面白さがわかれば俄然、仕事に対する意欲が湧いてくる。伸びが違ってくる。得意先からも指名で仕事がある。年齢は関係ない、是非、未経験の人に門を叩いてほしい。経験者はもちろん、やる気のある未経験者にどんどん来て欲しい」と社長は言う。

腕のある職人を育て、求められる現場で仕事をさせたい。ひとつの生き甲斐である。また、エコ関連事業及び人材派遣事業を展開することで企業のさらなる安定を考えている。「建設業は昔のような職人気質がいなくなり、現場主任もサラリーマン化してきている。もっと、グローバル的にものを考えていかないと行き詰まる」と先々を危惧して、将来の坂本土建の展望に思いを巡らされている。

※若者よ当社に就職に来れ!



### 株式会社 坂本土建

代表取締役 坂本 寛成

(写真:右)

取締役常務 坂本 和行

(写真:左)

〒552-0004  
大阪府大阪市港区夕凼  
2-10-23  
TEL : 06(6572)5551  
FAX : 06(6572)5553



【事業概要】 鷹工・土工 (建設業)

